

薬事に関する小委員会



参議院議員・薬剤師 神谷政幸

自由民主党の組織として「政務調査会」があり、その下に「厚生労働部会」、さらにその下に「薬事に関する小委員会」があります。

薬事に関する小委員会は、自民党が野党となった平成22年12月1日に正式に設置され、与党による薬事行政等について提言するという目的であったとのこと。平成24年12月に与党に復帰してからは、与党の立場で薬事行政に対して意見を述べる組織となりました。

初代の委員長は松本純先生であり、二代目が藤井基之先生、現在の委員長は田畑裕明衆議院議員が務められています。事務局長は初代が藤井基之先生、次に村井英樹衆議院議員、そして昨年12月より私が事務局長を務めさせていただいております。

小委員会の開催は定期的ではなく、薬事法改正等の薬事行政における重要な動きが予定されている際に随時開催されてきています。これまでの主なテーマは、脱法ハーブ等の乱用問題の現状等と今後の課題、医薬品医療機器等法の改正に向けた検討状況と薬業団体からのヒアリング、医薬品医療機器等法の一部改正案の法案審査、薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会の状況報告、大麻取締法の見直しに向けた検討状況、医薬品の安定供給等が挙げられます。

私が事務局長として開催された昨年12月の小委員会では、薬局・薬剤師関係の主な規制改革の動向について、内閣府の規制改革推進室と厚生労働省医薬・生活衛生局から説明を受けて、活発な質疑応答がなされました。また、本年3月に開催された小委員会では、本田顕子政務官をはじめ厚生労働省の幹部の参加のもと①経口中絶薬、②医薬品の販売制度に関する検討会、③薬局・薬剤師に関する規制改革の動向について意見交換を行いました。

今後とも事務局長として頑張ってまいります。

